

人文論叢

三重大学人文学部文化学科研究紀要

第 30 号

目 次

論説

アフリカ文学と Oral Literature (9)

— サラ・ガートルド・ミリン、循環する声 — 赤岩 隆 (1 ~ 15)

流浪作家艾蕪和喬治・歐威爾

— 假想的文學空間 — 荒井 茂夫 (17 ~ 21)

定住ブラジル人の子どもを地域にどう受け入れるか — 三重県北部での日本人住民調査 —

..... 江成 幸・藤本 久司・福本 拓・長尾 直洋 (23 ~ 37)

明治維新とフランス革命の類似

— 日本史の独自性神話批判 — ゲットマン・ティエリー (39 ~ 43)

『オルレアン処女』と一八〇〇年前後のドイツ 菅 利恵 (45 ~ 56)

秦漢時代の牘について 高村 武幸 (57 ~ 71)

チーフはだれか — 現代カナダにおけるある判決と先住民社会をめぐる —

..... 立川 陽仁 (73 ~ 85)

ルールの理論 — 多元的制度論の試み (3) — 村上 直樹 (87 ~ 105)

薩長盟約と龍馬伝説 山岡 悦郎 (107 ~ 122)

竹内好と国民文学論争 — 従軍体験と百花斉放運動 — 尾西 康充 (一 ~ 六)

三輪山の神の深き悔恨

— 箸墓造営と古代国家創建の前提条件 — 武笠 俊一 (二 ~ 四)

『南行集』考 湯浅 陽子 (五 ~ 六)

展望

文の理解における予測について 井口 靖 (123 ~ 136)

研究ノート

ポルト市公共図書館所蔵日本関係資料について 川口 敦子 (137 ~ 142)

三重大学人文学部

2013